

## 令和8年度「かごしまDXアカデミー事業」業務委託 質問回答書

仕様書：令和8年度「かごしまDXアカデミー事業」業務委託に係る企画提案仕様書

実施要領：令和8年度「かごしまDXアカデミー事業」業務委託に係る企画提案実施要領

（仕様書・実施要領の記載順）

番号	該当箇所	質問内容	回答
1	仕様書P1 3 事業の目的	本事業の目的は「DX推進リーダーの育成」とされていますが、貴県として重視される成果は、 ①受講者個人の知識・スキル習得 ②所属団体における業務改善の実践・着手 ③県及び市町村間での横展開・ネットワーク形成のいずれに重点が置かれているか、ご教示ください。優先順位がある場合は併せてご教示ください。	本事業は、県及び市町村職員のDX推進リーダー育成を目的としており、ご提示いただいた3点はいずれも重要であると考えています。 そのため、現時点でこれらに優先順位を設けているものではありません。
2	仕様書P1 6 業務内容(1)①	研修カリキュラムについて、生成AI（ChatGPT等）を活用した業務プロセス自動生成や、実際の県庁内業務を題材としたハンズオン支援など、高度な実践的研修は加点評価の対象となりますでしょうか。	提案に当たっては、実施要領10「提案内容」に記載のとおり、仕様書に定める業務内容に加え、本業務の目的達成に必要な効果的なアイデアをご提案ください。
3	仕様書P1 6 業務内容(1)①別紙 「DX推進リーダーに必要な知識・スキル」	デジタルツールの活用、データの活用について、想定されているツールをご教示ください。	仕様書に示す研修目的に沿って、デジタルツール及びデータ活用等について学べる内容を想定しています。 なお、一例として、人流データ可視化ツールの活用も想定しています。
4	仕様書P1 6 業務内容(1)②	受講者選定の基準は設定されていますか？また、受講者のレベル感としてどのような想定をされていますでしょうか？	受講者の選定基準については、県において今後検討・決定することとしています。 また、レベル感については、初学者からでも学べるよう、仕様書別紙の「DX推進リーダーに必要な知識・スキル」を参考にすることとし、対面と動画の研修を組み合わせた提案をしてください。 具体的な研修内容については、事業者決定後に協議した上で決定します。
5	仕様書P1 6 業務内容(1)②	過去の類似研修において、参加者集めに苦労された背景や、想定される主な不参加理由（業務多忙、対象者のITリテラシーの壁など）があればご教示いただけますでしょうか。	受講者の募集及び決定は県にて行うこととしています。 また、不参加の理由については個別の事情によるところが大きいため、お示することは困難です。
6	仕様書P1 6 業務内容(1)②	受講者集客の「必要な対策」について、受託事業者が担うべき具体的な役割の範囲（例：案内チラシの作成、説明会の開催、各市町村への個別アプローチなど）はどこまでを想定されていますでしょうか。	受講者の募集及び決定は県にて行います。
7	仕様書P1 6 業務内容(1)②	受講者の募集は県で行うとのことですが、募集に際してチラシ等広報資材の準備は事業者側で必要でしょうか？また、受講者の受付及び管理も県で実施する認識でよろしいでしょうか？	受講者の募集及び決定は県にて行いますので、広報資材等の準備を事業者にも必須で求めるものではありません。 また、受講者の受付及び管理については、募集・決定に係る部分は県、研修開始後の出欠等受講状況の把握、管理については事業者において対応いただくことを想定しています。
8	仕様書P1 6 業務内容(1)②イ	「研修の参加状況が芳しくないと思込まれる場合には～」とありますが、「十分な参加者（または、十分ではない）」と評価する目安・判断基準はどの程度でしょうか？ *例：各回参加予定数の○割以上 など。	カリキュラムの各研修における「十分な参加者」と評価する目安や判断基準については、申込状況や受講状況等を踏まえ、その時点で県と事業者が協議の上、判断することを想定しています。 なお、受講者の募集及び決定は県にて行うこととしています。
9	仕様書P2 6 業務内容(1)⑤ウ・⑥ <参考：カリキュラム例>	仕様書「6 業務内容 (1)⑤ウ」において、「各回15名程度を目安に、研修ごとに計2回実施すること」とあります。カリキュラム例の集合研修（約20時間）について、講師は同じ内容の研修を2回ずつ（登壇時間としては計40時間）実施する、という認識でよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
10	仕様書P2 6 業務内容(1)④・⑤・⑥ <参考：カリキュラム例>	④にて「集合研修約20時間」とあり、⑤その他ウに「各回15名程度を目安に、研修ごとに計2回実施」とあります。ご提示頂いているカリキュラム例における6時間は、同様のBPR研修を3時間×2回実施する想定と解釈してよろしいでしょうか。	同じ内容の研修を2回ずつ実施することを想定しておりますので、ご提示のBPR研修を例にしますと、6時間の研修を2回実施することを想定しております。

## 令和8年度「かごしまDXアカデミー事業」業務委託 質問回答書

仕様書：令和8年度「かごしまDXアカデミー事業」業務委託に係る企画提案仕様書

実施要領：令和8年度「かごしまDXアカデミー事業」業務委託に係る企画提案実施要領

（仕様書・実施要領の記載順）

番号	該当箇所	質問内容	回答
11	仕様書P2 6 業務内容(1)⑥<参考：カリキュラム例>	カリキュラム例に目安時間数が記載されていますが、こちらはそれぞれのカリキュラムについて1日での実施を想定されていますでしょうか？それとも、3時間×2日間等の開催も柔軟にご対応いただけますでしょうか？	カリキュラム例に記載している時間数については、受講者の参加しやすさを考慮し、原則として1日での開催を想定しています。
12	仕様書P2 6 業務内容(1)⑥<参考：カリキュラム例>	eラーニング研修はサブスクサービスの活用も可能とのことですが、自社製品ではない一般的なeラーニングサービスの活用も認められているのでしょうか？	eラーニング研修については、仕様書に示す要件を満たすものであれば、自社製品に限らず、一般的なeラーニングサービスを活用する提案も可能です。
13	仕様書P3 6 業務内容(2)	仕様書「6 業務内容 (2) 環境整備」において、「研修会場（県庁周辺を想定）等については、事業者にて準備すること」とありますが、県庁内の会議室等を研修会場として無償で借用することは可能でしょうか。それとも、民間貸会議室等を受託者の費用負担で手配・確保することを優先する方がよいでしょうか。	研修会場については、原則として県庁周辺の民間貸会議室等を、事業者の費用負担で手配・確保していただくことを想定しております。
14	仕様書P3 6 業務内容(2)	受講者へのPC貸出について、受講者自身の業務用PCの持ち込みを原則とすることは可能でしょうか。	研修で使用するハードウェア（PC等を含む。）については、原則として事業者において準備してください。
15	仕様書P3 6 業務内容(2)	PC等の準備が必要になる想定状況・想定個数等があればご教示ください。	仕様書に示す研修内容に沿って、職員が身に付けるべき知識・スキルを学習する研修を実施する際にPCが必要かどうかを判断し、提案してください。 必要台数については、研修対象者数等を踏まえて積算してください。
16	仕様書P3 6 業務内容(2)	eラーニングについては、LMSなどのプラットフォームも準備する必要がありますでしょうか？	eラーニング研修については、受講状況を把握できることを想定しています。なお、その方法については、必ずしもLMS等のプラットフォームを準備する必要はなく、受講者による自己申告等により確認する方法でも構いません。
17	仕様書P3 6 業務内容(2)	弊社の定額制eラーニングサービスを提案する場合、対象者（30名程度）に限定せず、庁内全体（希望する全職員）へアカウントを付与するといった提案は可能でしょうか。またその場合、ライセンス費用の扱いはどのようになりますでしょうか。	本業務における研修対象者は30名程度を想定しており、庁内全体へのアカウント付与は想定していません。 なお、庁内全体へのアカウントの付与を提案する場合は、ライセンス費用を含む必要経費を提案限度額内で計上してください。
18	仕様書P3 6 業務内容(3)	研修者同士の交流やアンケートのために外部のSaaSを利用することは可能でしょうか？既に県及び市町村向けにそのような共通で利用できる仕組みがあればご教示いただきたいです	外部のSaaSの利用については、仕様書の内容を満たし、セキュリティ対策や個人情報保護等に十分配慮されたものであれば、提案いただくことは可能です。 県において利用している既存のコミュニケーションツールはありますが、本業務での利用可否や具体的な取扱いについては別途協議となります。
19	仕様書P3 6 業務内容(3)エ	修了基準を満たせなかった受講者が発生した場合、受託事業者側で補講や個別指導等のフォローアップを行うことは必須要件となりますでしょうか。	現時点では、修了基準を満たせなかった受講者に対する補講や個別指導等を必須要件とはしていませんが、仕様書に記載のとおり、アーカイブを残すなど、継続して学習できるよう対応してください。 なお、フォローアップを提案する場合は、提案金額の範囲内としてください。
20	仕様書P3 7 人員配置体制	事務局要員については、県及び研修対象者との連絡・調整全般を担うとありますが、研修の内容についての質疑を受けることは想定されておりますでしょうか？	ご認識のとおりです。
21	仕様書P3 7 人員配置体制	事務局要員について、鹿児島県庁内への常駐は必須でしょうか。あるいは、フルリモート（オンラインツールや電話・メール）での事務局対応も許容されますでしょうか。	事務局要員について、県庁内への常駐は想定していません。

## 令和8年度「かごしまDXアカデミー事業」業務委託 質問回答書

仕様書：令和8年度「かごしまDXアカデミー事業」業務委託に係る企画提案仕様書

実施要領：令和8年度「かごしまDXアカデミー事業」業務委託に係る企画提案実施要領

（仕様書・実施要領の記載順）

番号	該当箇所	質問内容	回答
22	仕様書P3 9 成果物等	eラーニング研修はクラウド上でのプラットフォームにて提供を予定しておりますが、納品物としてプラットフォームの提供ができないため、研修の元資料となった動画ファイル（MP4等）を納品させていただいてよろしいでしょうか。	成果物として、eラーニング研修の動画ファイルの提出による提案でもかまいません。
23	仕様書P4 11 再委託	「再委託」の範囲について、例えば「一部カリキュラムにおける外部専門講師の登壇」や「eラーニングシステムのプラットフォーム利用」は、県の承諾を得やすい（または再委託に該当しない）という理解でよろしいでしょうか。	仕様書に記載のとおり、事前に書面にて協議の上、県の承諾を得ることとなり、協議内容に応じて判断することになります。
24	実施要領P1 5 企画提案に係る参加資格	共同企業体（JV）での参加を検討する場合、代表企業や構成員に関する要件（例：県内企業の必須化、構成員数の上限など）はありますでしょうか。	実施要領上、共同企業体（JV）での参加に当たり、代表企業・構成員について県内企業を必須とする要件や構成員数の上限は設けていません。ただし、JVを構成する各者は、実施要領「5 企画提案に係る参加資格」に定める要件を満たす必要があり、また、単体企業とJV構成員との重複参加はできません。
25	実施要領P2 11 提案限度額	ハイブリッド開催用の撮影・配信機材費や、eラーニングプラットフォームの初期構築費など、研修の質を高めるためのインフラ費用は、すべてこの提案限度額内に含める想定でしょうか。	お見込みのとおりです。
26	実施要領P3 12 選定方法及び選定結果	本事業の企画提案において、貴県として特に重視される観点（例：研修内容の質、実務への適用可能性、事業の波及性・再現性、運営体制、効果測定的设计等）があればご教示ください。	別添「評価基準」の加重率を参考としてください。